

未来に向かって明るく逞しい町村を創生

全国町村議会議長会会長 松尾 文則

本日、ここに、全国町村長大会がかくも盛大に開催されるに当たり、全国の町村議会議長を代表いたしましてお祝いの言葉を申し上げます。

町村長の皆様には、日頃から、町村行政の中枢にあって、住民福祉の向上と地域の発展のため、日夜、献身的なご努力と情熱を傾けておられることに心から敬意を表します。

特に、この秋は台風 19 号などの数次の豪雨災害に見舞われ、200に及ぶ町村に災害救助法が適用されました。

災害からの復旧に向け、陣頭指揮を執られている被災町村長の皆様のご苦勞は計り知れないものと存じますが、困難な道なりに果敢に立ち向かう御姿に、最大限のエールを送らせていただきます。

さて、今上陛下の御即位により、時代は「平成」から「令和」へと移りましたが、我々の前には「人口減少社会」と「多発する自然災害」という二つの大きな壁が立ちはだかつております。

人口減少下の社会においても、私たち町村が育んできた伝統、文化、産業、さらには、町村が守ってきた公益的機能を持続可能なものとし、町村が、将来にわたって活力ある地域社会であり続けるためには、新しい時代の新しい技術を最大限に活用しながら、地域が一体となって「地方創生の深化」に取り組んでいくことが重要であり、国と町村が一致協力して、事業を展開していく必要があります。

また、度重なる自然災害に対しては、これまでの災害で得た教訓を活かし、「地域防災力の強化」を図るとともに、安心して住み続けることができる「まちづくり」を行うことが肝要であります。

そのためには、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の目標を着実に達成するだけでなく、「3か年」の期間延長と「7兆円」の事業規模の拡充を求めてまいりたいと考えております。

「人口減少」と「自然災害」、これらの大きな壁を乗り越え、住民の皆様のご生活と安全を守るため、全国町村議会議長会では、「地方創生の実現」、「地域防災力の強化」を求めて、町村長の皆様とともに行動してまいります。

私たち町村議会議長は、自主・自立の精神をもって議会改革に努め、住民の信託に応えられる議会を構築して参る所存でありますので、町村長の皆様も、荒木会長のリーダーシップの下、一致団結して困難な行政課題に取り組んでいただき、お互いに手を携えて、未来に向かって明るく逞しい町村を創生してまいります。

終わりに、全国町村会のさらなるご発展とご参集の皆様方のご健勝とご活躍をご祈念申し上げまして、私の祝辞とさせていただきます。